



本庄っ子

2023.7.20 本庄水辺の学園 松江市立本庄小学校
校長室だより No4 発行者 福間敏之

本日終業式 ～無事第1学期を終えました～

臨休もなく、70日間の1学期を今日終えました。昨年7月中旬には1日で1271人という驚異的なコロナ感染者数の日がありました。5月に5類へ移行して以降は平常に戻りつつあります。子どもたち自身の努力、そして保護者の方、地域の皆様の協力のおかげだと感謝しております。マスクについては、着用者の意思を尊重しています。



体育会をはじめとして、本庄小学校が一丸となって、自分自身と友だちを互いにみがき合った成果を感じています。終業式でそのことに触れました。

明日から39日間の夏休みに入ります。8月29日(火)には、全員の元気な顔が揃うよう祈っています。地域の皆様、夏季休業中の子どもたちの見守りを、何卒よろしく願いいたします。

挑戦、自主、絆をキーワードに過ごした1泊2日 ～5年生サンレイク宿泊研修～

6月13日(火)から2日間、5年生は出雲市小境町のサンレイクで宿泊研修を行いました。仲間づくりゲームに始まって、湖面活動のサバニ体験、夜のキャンドルの集いなど、多種多様な活動にじっくりと取り組みました。天候に左右されやすいですが、初日にサバニが漕げたのはラッキーでした。

ちょっと古い言い方ですが「同じ釜の飯を食う」ことにより、連帯感も高まったことと思います。来年の修学旅行にうまくつなげていけるよう、5年生の今後の活躍に期待しています。



水辺の楽校は2学期以降へとっておきます

1・2年生が、目の前にある中海の水辺で生き物探しをする活動、今年は予定した日の天候が思わしくなく、2学期へ延期しました。写真は昨年の様子です。実はこの写真が、環境省の方の目に留まり、パンフレット作成に一役買ったというエピソードがあります。子どもたちに大アップレをあげたいです。エビ、ゴズ、タツノオトシゴなど様々な種類の生き物を発見しました。

本庄の水辺は、地元の人ばかりでなく、ロケーションのよさから観光客にも人気があると聞きました。大切にしましょう。

夏休み中は、子どもたちはご家庭での暮らしが中心となります。水辺へは保護者同伴が絶対条件ですので、天気の良いとき、といっても熱中症には十分気をつけていただきながら、親子で水辺を楽しむ機会もあるといいかもしれませんね。



ICT 教育推進の一環 タブレットの効果的な活用について



複数学年で家庭へのタブレット端末持ち帰りが行われました。家庭学習でしっかり使えるドリルソフトにも慣れてきています。3年生以上の学年では夏季休業中に家庭へ持ち帰ります。ぜひ有効活用してほしいと思います。繰り返しになりますが、こうした機器は「何のために使うのか」という目的意識がとても大事だと思います。自分で楽しむことも必要ですが、他とコミュニケーションをとるための道具として大変有効な機器です。

校内でも有効活用の方法を検討するため、このタブレットに入っているスカイメニューというソフトでどういうことができるのかを知り授業へ応用するための

研修会を行いました。また、マイクロソフトの Teams も徐々に使えるようになっていきます。2学期以降の学習の充実にご期待ください。

巣立ち後の姿を見ていただきました！保幼小連絡会 6月22日(木)



1年生12名が入学して約3カ月が経過した頃、懐かしい先生たちと再会する機会がありました。子どもたちについて情報交換するほかにもこの連絡会がとても大切なのは、本人たちがお世話になった先生方へ、少しでもいい姿を見せようと頑張るからです。後ろから温かく見守ってくださる先生方のまなざしがとても印象的でした。おかげさまで、12名はたいそう「はずんこんで」授業に臨みました。

普段は担任の教員と子どもたちで授業を行っていますが、こうして時々、様々な人に授業を見てもらうことは、子どもたちにとっても教員にとっても、とても大切なことだと思っています。「誰かに見られているから」という外部からの力を、自分自身の中でエネルギーに変換して力を発揮する、「はずんこんで」という出雲弁はそんなイメージです。

次回保護者の皆様への授業公開は9月27日(水)です。どうぞご期待ください。それでは安全で充実した夏休みをお過ごしください！！

